

# 道路せいそう

〒108-0023 東京都港区芝浦4-17-4 日本ロードビル3階

TEL 03-6435-1664 FAX 03-6435-1665

e-mail [jimukyokul@seisougijutsu.or.jp](mailto:jimukyokul@seisougijutsu.or.jp)URL <http://www.seisougijutsu.or.jp/>

発行 一般社団法人日本道路清掃技術協会 (昭和41年設立 平成4年9月創刊)

## 新年のごあいさつ 理事長 亀田 丈 司

新年おめでとうございます。昨年は新型コロナの感染防止のために当協会業務も多くの制約を受けた中での活動となりました。中でも「道路清掃技術者」資格制度の講習会が開催できなかったことは残念であります。しかしながら、当協会会員会社の作業状況においては新型コロナ感染防止策を徹底するなどの努力により通常作業においては概ね大きな影響を受ける事なく遂行出来ました。

災害支援については静岡県熱海市の土砂崩れ現場での照明車作業、和歌山県和歌山市の水道橋崩落事故による断水時に散水車による生活水運搬業務等に従事いたしました。

また、国の機関に対しては、清掃作業に使用する貸与車両について、通常時及び災害対応の作業を含めて、使用者から見た安全で効率よく作業を行う為に必要な車両の特徴や構造の比較説明を実施させて頂きました。

近年の気候変動によるゲリラ豪雨時に雨水桝や道路側溝の詰まりが原因で道路冠水が頻発したり、出来てはいけない水路（みずみち）が出来てしまう事象は近隣住民への被害はもとより道路を劣化させ、また斜面では土砂崩れ発生の要因のひとつとなります。

社会インフラの老朽化が問題となっている昨今、路面や橋梁の点検の重要性が増しています。排水機能の維持や点検作業には清掃作業が必要不可欠であり、当協会は今年も道路清掃の重要性及び緊急時に災害現場で大型特殊車両を安全で的確に操作を行える優秀な作業員を派遣できる体制を維持する重要性とその為の安定した作業量と適正歩掛の要望を行って参ります。本年も当協会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 令和3年度 第3回理事会を開催しました

令和3年10月19日に今年度の第3回理事会が機械振興会館の会議室で開催されました。

理事会の開催にあたり亀田理事長より挨拶があり、新型コロナの状況に対する懸念事項や、近年の多発する自然災害において清掃業界も迅速な復旧活動の一端を担って活躍していることをもっと周知していきたいこと、また、低迷している清掃作業については、作業量が安定した仕事の確保により人材の確保を協会として唱えて頑張りたい旨の話がありました。

議題については、各部会事業の進捗状況の報告と、今後の活動方針について報告が次のようにされました。

### 1. 広報部会

- 65号「道路せいそう」の掲載内容、配布状況の報告。
- 66号「道路せいそう」の記事募集を進める。

### 2. 企画広報部会

- 今年度の行事予定について
- 「道路せいそうの基礎知識」の改訂の必要性について
- 関東地方整備局との意見交換会の実施
- 中部地方整備局との意見交換会の実施
- 道路清掃技術者講習会について
  - ・屋内で実施可能な学科は夏、実地は冬として調整していたが、コロナの関係で今年度は中止。



・来年度は、夏に学科、冬に実地を行うこととして作業を進める。  
など、各部会からの報告と活動課題に対する討議がなされ、承諾等がされました。

## 国土交通省中部地方整備局との意見交換会を開催しました

去る、令和3年11月19日（金）名古屋市A B Oホールにおいて、国土交通省中部地方整備局（道路管理課・施工企画課）と一般社団法人日本道路清掃技術協会ならびに一般社団法人日本建設機械施工協会による「令和3年度公共工事（道路清掃）の諸課題に関する意見交換会」を開催致しました。

当該会議は、日本道路清掃技術協会及び日本建設機械施工協会が合同で国土交通省中部地方整備局と意見交換するもので、議案となる課題等が両協会員と共通するものうち主に道路の清掃作業に関する案件について抽出し、道路利用者の安全・安心の向上と業界の発展に資することを目的に実施しています。

例年は、東海地区会員の皆様を含め約25人程度の出席で開催していましたが、昨年度はコロナ禍の中、双方の合意のもと中止となっていました。しかし、今年度はコロナ禍ではありましたが安全対策に十分配慮した上で、会員企業を除く役員のみでの出席とし対面にて実施することができました。

会議内容については、主に道路利用者が道路を快適に利用するにあたって道路清掃作業の重要性（交通流の阻害防止と事故等の未然防止・道路利用者の安全（通行）の確保・良好な沿道環境の確保と道路美化）等について意見交換を致しました。

また、そのほか協会からは清掃技術者不足の中、良質な技術者確保のため協会が取り組んでいる技術者育成プログラム（実技講習会や学科講習会を実施し、効果試験に合格したら道路清掃技術者講習終了証を授与）について紹介すると共に、会員企業（豊和工業（株））が開発した「Iotを利用した路面清掃車ドライバー支援システム」及び路面清掃車のサランドビューシステム」の紹介も致しました。

さらに、現在、発注者から貸与されている路面清掃車の更新や、貸与されている路面清掃車が各地の災害時にTEC-FORCEとして支援派遣されることから、その際、定常作業に支障をきたさないようTEC-FORCEと定常の路面清掃作業兼用の路面清掃車の増強についても要望させて頂きました。約2時間の会議でありましたがお互いの立場で理解し合えた有意義な意見交換になったと考えております。

ご多忙中、会議に出席し対応して頂きました国土交通省中部地方整備局の皆様には大変感謝しております。有難うございました。

なお、令和4年度につきましては、中部地区会員企業の皆様と一同に会した会議開催が行えるよう尽力して参ります。今年も引き続き会員皆様のご指導とご協力を宜しくお願い致します。



## 令和3年度 第37回安全研修会の開催報告

令和3年11月12日（金）に台東区民会館において一般社団法人東京道路清掃協会と当協会との共催による「令和3年度 第37回 安全研修会」が開催されました。7月下旬から9月下旬にかけて今までになく猛威を振るったコロナウィルスの感染を避けるため、技術講習会が今年度も中止となり、安全研修会の開催も実施できるか判断が危ぶまれましたが、10月に入り収束傾向となったことから、昨年引き続き事務局としてしっかり感染対策をとり、ソーシャルディスタンスやマスク着用、アルコール消毒、喚起の徹底、さらに各参加会社からの出席者も昨年同様に1～2名程度としたうえで開催することができました。

はじめに、東京道路清掃協会の米沢専務理事からは開会の辞、日本道路清掃技術協会の亀田理事長、東京道路清掃協会の橋本会長から挨拶をしていただき研修が始まりました。

各講話は、講師として国土交通省より、関東地方整備局企画部施工企画課長の岡本様を講師にお迎えして、「令和3年度工事事務事故防止重点的安全対策」についてお話しをいただきました。

警視庁からは、交通総務課交通安全組織係警部補の山崎様より、交通事故者数増高のうち65歳以上の高齢者の交通事故死者数が3.5割を占めるなど、高齢者の事故件数が非常に多くなっている状況をはじめ、自転車の交通違反対策や歩行者への安全対策、ながらスマホ等をしながらの危険行為歩行者への注意、あおり運転への対応など、様々な交通事故や危険行為に対するお話や、安全運転管理者の責務などの講話をしていただきました。

東京都からは、予定していた建設局道路管理部保全課課長の三浦様はご都合で来られませんでしたでしたが、



代理として保全課課長代理の渡部様と主任の粉川様より、東京都建設局における工事事故や路面清掃関連で発生した事故事例紹介などのお話をいただきました。

各講話に引き続き、令和2年度無事故無災害表彰（団体）と2020年度安全優良社員表彰（個人）が行われ、最後に稲垣事務局長の閉会の辞で研修会を終了いたしました。

多忙のところ、講話を行っていただいた講師の方々や研修会に参加していただいた皆様をはじめ、事務局の皆様のご協力により無事に令和3年度の安全研修会を開催できたことに感謝いたします。



## Iot を利用した路面清掃車ドライバー支援システムの開発

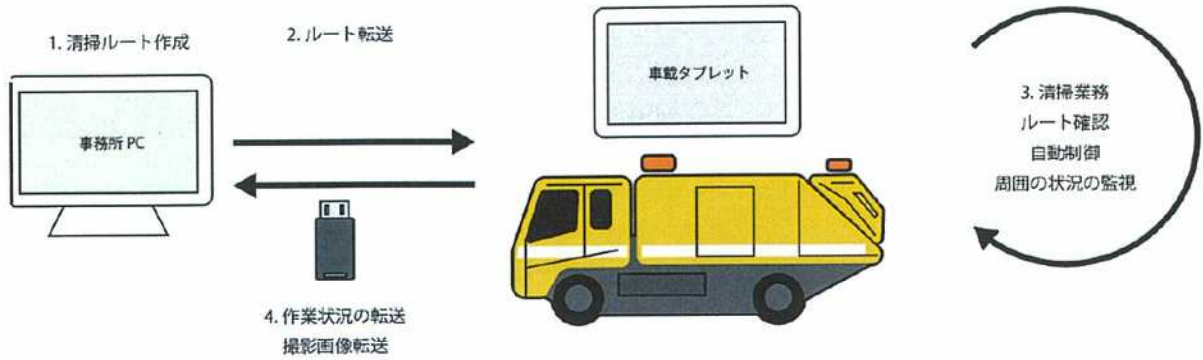
豊和工業株式会社

現在、豊和工業株式会社では路面清掃作業における、「清掃業務の生産性向上」「オペレータの負担軽減」「安全確保」「予防・予知保全」を目的に Iot を活用し、路面清掃車を構成する各装置の制御機器や作業及び走行情報、また現在机上で行っている作業計画や車両の履歴に必要な消耗品や整備記録などの管理を容易に行えるシステムの開発を進めています。

### ◎システム内容

機 能	内 容
制 御	主ブラシ・側ブラシ・補助側ブラシ・コンベヤ・散水装置の動作制御 (交差点待機(信号待ち)時の一時停止)
車内タブレット表示	車両周囲の障害物情報
	清掃ルート
	作業装置作動状況(各ブラシ、コンベヤ、回転灯)
	水タンク、ホップ積載重量
清掃計画作成	清掃ルート作成機能 (事務所 PC にて事前に清掃ルートを作成し、USB にてタブレットへ入力)
稼働ログ	各種消耗品交換後の使用時間の表示と交換時期の報知、過去の交換期間の表示

◎システムの概要

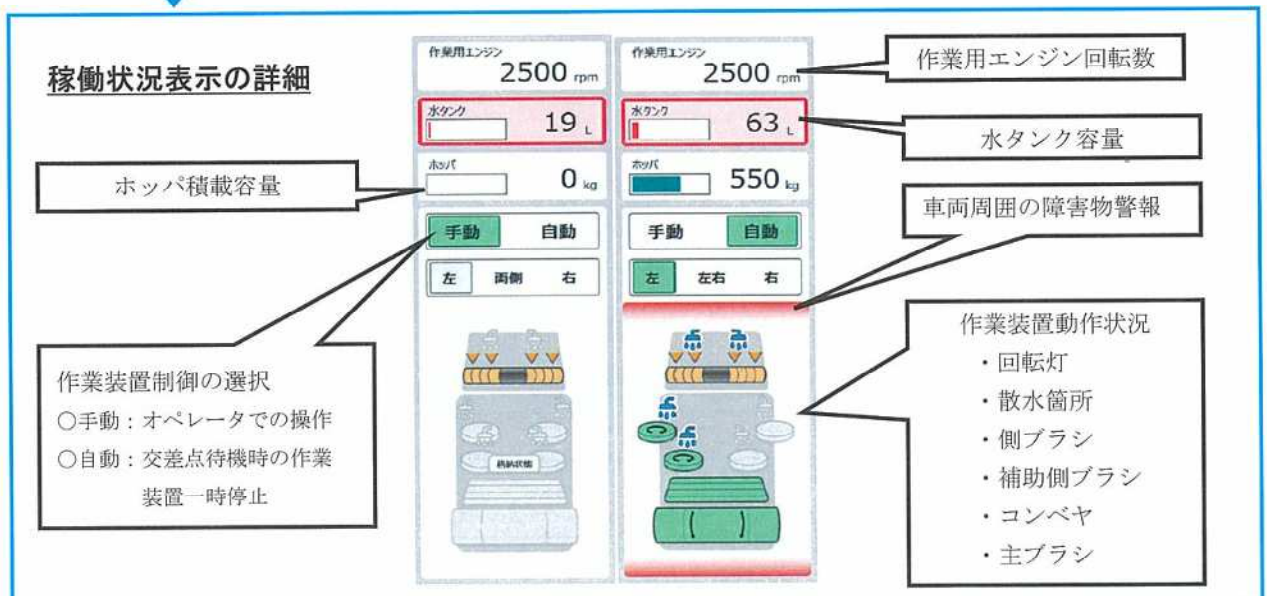


◎車内タブレットでの表示画面

タブレットには稼働状況と清掃ルートを表示します。画面右側に清掃ルートを表示し、左側に清掃車の稼働状況を表示します。



タブレットの画面



◎メンテナンス情報表示

タブレットのメンテナンスを選択し、別画面で表示します。

油脂類（作動油、エンジンオイル）・各ブラシ・スプロケット等の消耗品の使用時間を表示し、交換時期の報知を行うとともに、交換後の使用時間・過去の交換時間も合わせて表示します。

	メンテナンス時期です 左補助側ブラシ	メンテナンス時期です 左側ブラシ	主ブラシ	右側ブラシ	メンテナンス時期です 右補助側ブラシ
使用時間	104 時間	104 時間	1 時間	1 時間	104 時間
交換予定	100 時間	100 時間	100 時間	100 時間	100 時間
	リセット	リセット	リセット	リセット	リセット
前回交換日	2021/06/15	2021/06/15	2021/06/18	2021/06/18	2021/06/15
交換時間	204 時間	108 時間	102 時間	102 時間	108 時間
前々回交換	-	-	2021/06/15	2021/06/15	-
交換時間	-	-	108 時間	108 時間	-

	スプロケット	ラバーチェーン	コンパヤ底板	作動油	まあなくメンテナンスです 作業エンジンオイル
使用時間	1 時間	1 時間	1 時間	0 時間	97 時間
交換予定	50 時間	50 時間	100 時間	100 時間	100 時間
	リセット	リセット	リセット	リセット	リセット
前回交換日	2021/06/18	2021/06/18	2021/06/18	2021/06/18	2021/06/16
交換時間	102 時間	102 時間	102 時間	1 時間	10 時間
前々回交換	2021/06/15	2021/06/15	2021/06/15	2021/06/18	2021/06/15
交換時間	108 時間	108 時間	108 時間	106 時間	15 時間

CSV出力

メンテナンス画面

現在、本システムを弊社デモ機（ブラシ式・HF85H形）に取り付けてテストを実施しておりますが、会員皆様のご意見を頂きながら完成させたいと考えています。

今後はシステムの内容についてご意見を頂戴する活動を進めて参りますので、ご協力頂ければ幸いです。

『道の駅』探訪記 Vol.10

道の駅 どまんなか たぬま & 道の駅 かぞわたらせ



新年明けましておめでとうございます！企画・広報部会の編集委員の『MOS(モス)』です！今号で遂に Vol. 10 になりました！ご愛読いただいた皆様のお陰でこれまで続けてくる事ができました。本当にありがとうございます！次は Vol. 20 へ向けて、これからも連載して「道路せいそう」をより良くしていきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願ひします！

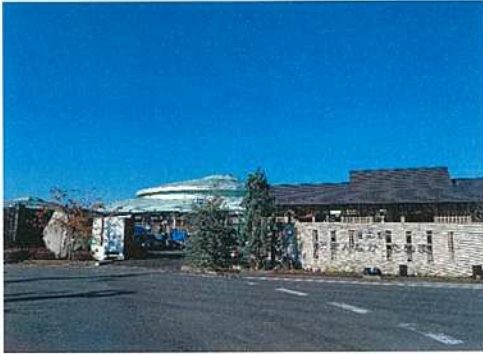
新型コロナウイルス感染者数もようやく減少傾向となり、ホッと一安心している今日この頃。また増加しないことを願うばかりですね。

東京オリンピックも無事に開催され、前号で取り上げた自転車ロードレースでは、男子のメダル争いがゴールの富士スピードウェイでドラマチックに繰り広げられ、なかでも銀メダル争いについては2者同タイムで写真判定にまでなったようです。244kmもの距離を6時間かけて走って最後に写真判定とは驚きのレース展開ですね！

また、編集委員のMさんは家族旅行で前号と同じルートで旅をされ、吉田うどんを食べ、道の駅富士吉田で富士山の湧水も汲まれてきたようですよ！皆さまも是非ご旅行の参考にして頂けましたら嬉しいかぎりです！

さて、ご紹介するVol. 10の記念すべき道の駅は、道の駅の名前で特に一番印象に残った「どまんなか

たぬま」です。「どまんなか」とはなんとインパクトのある名称だなあと考えていた私は当初、道の駅は栃木県佐野市にあるので、関東の真ん中あたりに位置するからだろうと考えていましたが、調べると由来はもっと大きく、『日本列島の中心地』が佐野市田沼地区ということのようで驚きでした！日本列島の東西南北の基準点を線で結ぶと、その線が交わる中心点が田沼地区（旧田沼町）の上になるようです。私たちMOSは『日本のどまんなか』にいることを感じながら道の駅を楽しみました。



栃木県はいちごの名産地で、長年に渡って生産量が日本一の様です。そして、有名な「とちおとめ」や「スカイベリー」は栃木県が生んだ品種とのことで、まさに「いちご王国」と感じさせられます！いちごの出荷がちょうど始まりの時期を迎えていて、売り場も赤く色づき、いちごのいい香りが漂っていました。隣にある農園ではいちご狩り体験もできるようですよ！（コロナで自粛されていたようなので事前確認されるとよいと思います。）せっかく「いちごの王国」に来ましたので、現地で味わおうと、高級で贈呈用として人気のスカイベリーを購入して食べました。とても大粒で、朝採れたてのようのみずみずしく、美味しかったです！



佐野市の名物である「いもフライ」と「黒から揚げ」を売店で買って食べました。どちらもソースに特徴があって美味しく、やみつきになりそうな味でした！佐野市内にそれぞれ20店舗も取り扱っているようですよ！食べ比べしても楽しそうですね！



そして、佐野市と言えはなんとと言っても有名なのが「佐野ラーメン」です。人気店の「日向屋」に行ってみると、驚くほどの大行列！次なる人気店「らーめん大金」に行くと幸運にも行列になる前に入店できました。

鶏ガラと国産野菜から出汁をとった透き通るスープを一口。MOS一同『うまい!!』と感動。そして、もちもちした自家製麺も、野菜たっぷりの餃子も最高！お店の方の細やかな気遣いのある対応もとても良く、大満足の佐野ラーメンでした！

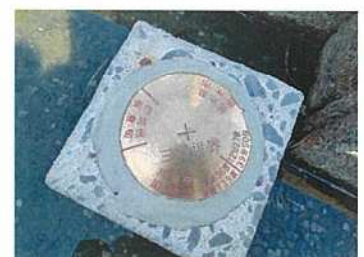


栃木県は当協会の会員である川上建設㈱、Kインフラメンテナンス㈱のお膝元でもあります。日光や那須などの観光地、名産品がいっぱいの栃木県に是非ご旅行されてみてはいかがでしょうか！

次に向かった先は埼玉県加須市にある、「道の駅かぞわたらせ」です。道の駅の近くには上空から見るとハート型をした渡良瀬遊水池（谷中湖）があり、道の駅で関東初の「恋人の聖地」サテライトに認定されたようです。加須市は有数のこいのぼりの産地で、「こいのぼり⇒恋昇り⇒恋愛成就」という想いも込められているようです。建物の屋上にはハートのオブジェがあり記念撮影もできます！「渡良瀬貯水池」のダムカードも配布されていて、道の駅記念きっぷと共にゲットできました！



また、埼玉県・群馬県・栃木県の三県を、歩いて3歩で三県を回れる、人気スポットの「三県境」があります。三県境は日本全国に40か所以上あるようですが、ほとんどが山の尾根や河川の中にあるので、こちらだけが平地で簡単に歩いて行けるということです！右足に栃木県、左足に埼玉県、右手で群馬県を一挙に三県をまたいできました！道の駅から近く、歩いて行けますのでおすすめです！



お食事処さくら食堂では地元の川魚料理の名物「ナマズの天ぷら」が食べられるということで早速注文しました。最初はナマズの姿をイメージするとかなりの抵抗感がありましたが、食べてみるとふっくらと柔らかく、臭みもなく、美味しくいただくことができました！評判がとても良い手打ちうどんも蕎麦もかなり美味しくMOS一同大満足でしたが、(佐野ラーメンを先ほど食べた後でしたので)もう満腹状態でした。



記念すべき Vol.10 でありましたが、まとも食道楽の道の駅探訪となってしまいました！笑。また次号も引き続きご愛読よろしく申し上げます！

#### 編集後記

明けましておめでとうございます。

コロナウィルスが蔓延して早くも約2年近くも過ぎ、令和という年号も4年目となりました。

在宅での仕事を続けている方もおられると思いますが、デスクワークのやり方がこんなに急に変わったことは今までなかったのではないのでしょうか？そのような状況の中、皆さんの仕事も思うように進まない場面が多々あったのでは？

まだまだ、リモートでの会議や打ち合わせではネット環境や、パソコンの仕様や性能などでスムーズにできない場面があり、コロナ前からリモートの打合せは使用していましたが、私は個人的にやはり対面でできる方が良いと思っています・・・。

今後は変異ウィルスの状況もありますが、新年を迎え、少しでも良くなって新型コロナ以前の生活ができる年になればいいですね！

今年も年2回の編集を頑張っていきたいと思いますので、皆様からの記事も募集しておりますのでよろしくお願いいたします。